

2020年11月25日

フォースタートアップス株式会社

コード：マザーズ:7089

住所：106-6036 東京都港区六本木1-6-1 泉ガーデンタワー36F

代表者：代表取締役社長兼CEO 志水 雄一郎

問い合わせ先 担当者：取締役兼コーポレート本部長 菊池 烈

電話番号：03（6893）0650

＜マザーズ＞ 投資に関する説明会開催状況について

以下のとおり、投資に関する説明会を開催いたしましたので、お知らせいたします。

○開催状況

開催日時	2020年11月25日 11：00～12：00
開催方法	ライブ配信
開催場所	当社
説明会資料名	2021年3月期第2四半期決算説明会資料

【添付資料】

1. 投資説明会において使用した資料



Startups, Inc.

FY2021-2Q FINANCIAL RESULTS
Jul.2020-Sep.2020

Agenda

1. 会社概要
2. 市場環境
3. 2021年3月期第2四半期業績
4. タレントエージェンシー
5. オープンイノベーション
6. 2021年3月期 業績予想
7. APPENDIX

会社概要



会社名 **フォースタートアップス株式会社**

英文社名 **for Startups, Inc.**

設立	2016年 9月	経営陣	志水 雄一郎	代表取締役社長 兼 CEO
所在地	東京都港区六本木1-6-1 泉ガーデンタワー 36F		菊池 烈	取締役
従業員数	73名 ※2020年9月末時点		恒田 有希子	取締役
資本金	2億657万円 (2020年9月末)		清水 和彦	取締役
事業内容	成長産業支援事業		大原 茂	取締役
取引先企業数	700社以上		齋藤 太郎	社外取締役
職業紹介許可番号	13-ユ-307946		堀内 雅生	社外取締役
		備考	志磨 純子	常勤監査役
			秋元 芳央	社外監査役
			澤田 静華	監査役
			日本経済団体連合会 (経団連) 会員 日本ベンチャーキャピタル協会 (JVCA) CVC会員 経済産業省J-Startup Supporters選定企業	

- 2013.4 ウィルグループ子会社セントメディア（現:株式会社ウィルオブ・ワーク）のネットジンザイバンク事業部発足
- 2016.9 会社分割により、株式会社ネットジンザイバンクを新設（ウィルグループ100%出資子会社）
- 2018.3 フォースタートアップス株式会社に社名変更
- 2018.4 日本ベンチャーキャピタル協会入会
- 2018.5 成長産業領域に特化した情報プラットフォーム「STARTUP DB」リリース
- 2019.4 オープンイノベーションサービスを開始
- 2019.7 Crunchbase, Inc.（米国）との業務提携を開始
- 2020.3 東京証券取引所マザーズに上場（証券コード7089）
- 2020.6 一般社団法人日本経済団体連合会（経団連）に入会

Vision



「世界で勝負できる産業、企業、サービス、人を創出し、日本の成長を支えていく」ために、“for Startups” をビジョンとして掲げ、ヒューマンキャピタルを中核とした成長産業支援事業に取り組んでいます。

Value

*Startups First
Be a Talent
The Team*

Startups First

全ては日本の成長のために。
スタートアップスのために。

Be a Talent

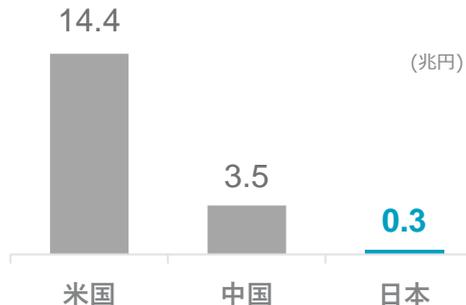
スタートアップスの最たる友人であり、パートナーであり、自らも最たる挑戦者たれ。そして、自らの生き様を社会に発信せよ。

The Team

成長産業支援という業は、TEAMでしか成し得られない。仲間のプロデュースが、日本を、スタートアップスを熱くする。

※スタートアップス = 『進化の中心』にいることを選択する挑戦者達

2018年のベンチャー投資額



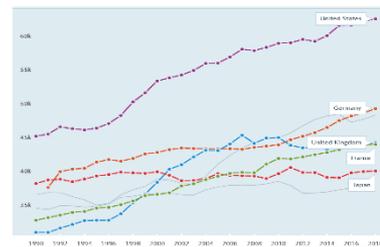
出所) VEC「ベンチャー-白書2019」より当社作成

ユニコーン企業数



出所) 日本: STARTUP DB調べ (2020年11月2日)
米中: CB insights The Complete List Of Unicorn Companies (2020年11月12日)

平均賃金



日本: 25位 (424万円)

*OECD加盟国37カ国中 (2019年)

出所) OECD (2020年8月13日) 1USD=110円換算

この30年の間に、米中はGAFAMやBATなどのテクノロジーイノベーション牽引型の新興企業を創出
日本国内の生活水準は、海外と比較して相対的に低下し、今後もさらなる下降傾向にあると推測される

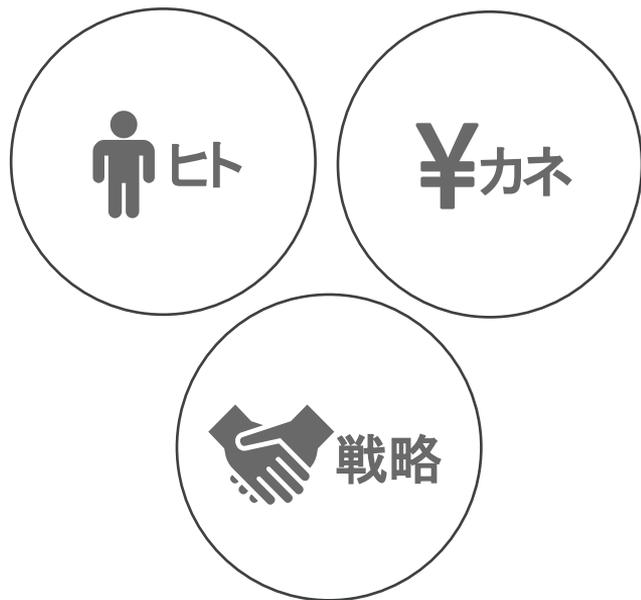


成長産業支援の仕組みを作り、日本の国際競争力を挽回する

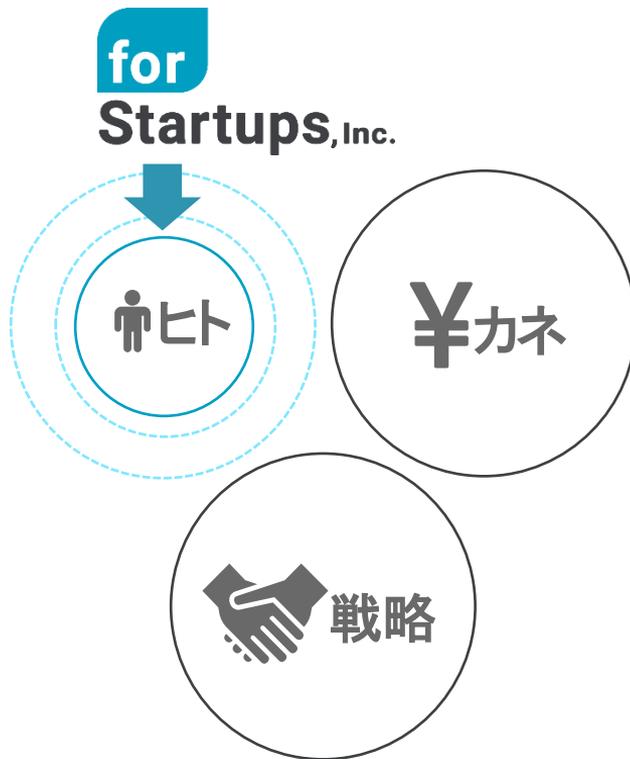
ベンチャーキャピタルの日米比較

ヒトの支援が手薄な日本のベンチャーキャピタルと、タッグを組んで成長産業支援

米国大手ベンチャーキャピタル

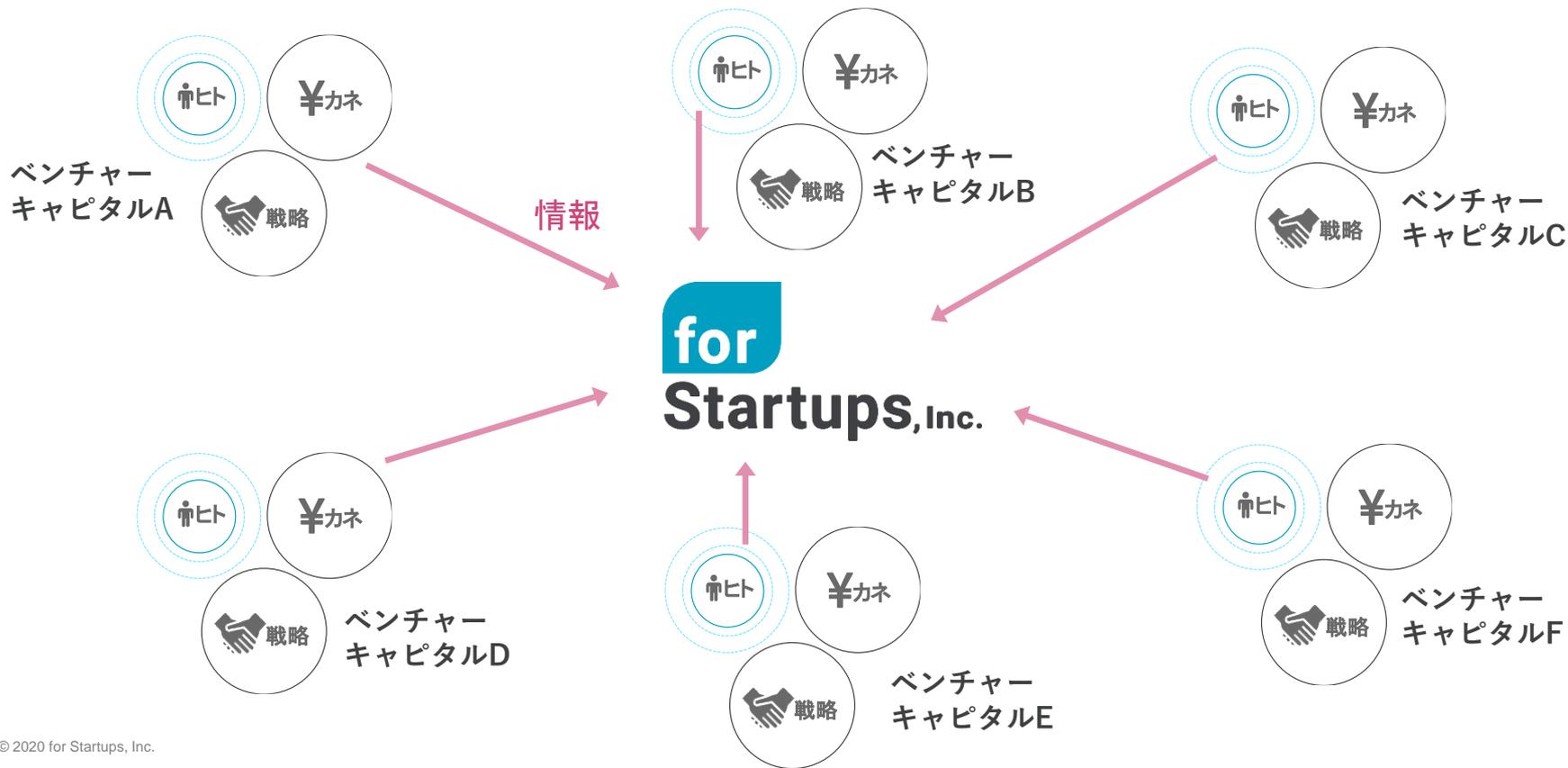


日本



ベンチャーキャピタルのバリューアップチーム

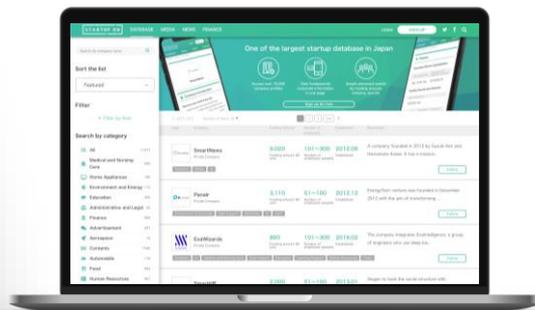
複数のベンチャーキャピタルと連携し、精度の高い情報収集が可能に



12,000社以上のスタートアップ情報を集約した

「成長産業に特化した情報プラットフォーム」

企業情報、資金調達、プロダクト情報、ニュース、インタビュー等を掲載



英語版

STARTUP DB

<https://startup-db.com/>

世界最大級のベンチャーデータベース
「Crunchbase」と業務提携
(国内初の本格的なデータパートナー)



Crunchbase + for Startups, Inc. Partner to Expand Data on Japan

July 17, 2019

Ellen Ehsiam,
Crunchbase
Partnerships

Home
Entrepreneurs
Sales
Investors
Market Research
Startup Mentoring
Crunchbase Star 100
News about Crunchbase

Crunchbase and for Startups have partnered to share information on Japanese companies to the global startup community. Founded in 2016, for Startups promotes the growth industry in Japan by supporting leading startup ventures and entrepreneurs.

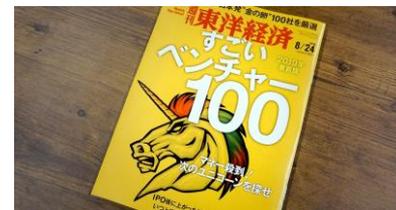
Through this partnership, Crunchbase will add the most innovative and well-funded Japan tech startups from for Startups' information platform, STARTUP DB. for Startups will use Crunchbase data to produce insights on global startup ecosystems.

"Startup companies in Japan have been less known by most global professionals because there has been no platform in English sharing the same information of startup companies in Japan. We hope that this partnership will provide global opportunities for cross-border alliance and investment and will accelerate the growth of startup companies." - Yuchiro Shimizu, CEO, for Startups



Japan tech startups have raised several significant rounds of funding this year, including:

情報提供・取材協力
新聞・経済誌・メディア・書籍など



掲載例：

週刊東洋経済

会社四季報

DIAMOND SIGNAL

週刊ダイヤモンド

日経産業新聞

Forbes Japan

マイナビ新書

CNET Japan

@DIME

エキサイトニュース

BRIDGE

Techable

Yahoo!News

週刊アスキー

Crunchbase + for Startups, Inc. Partner to Expand Data on Japan, July 17, 2019
<https://about.crunchbase.com/blog/crunchbase-for-startups-partner-to-expand-japan-data/>

人材支援を中心とした成長産業支援の枠組み

ヒト (タレントエージェンシー)

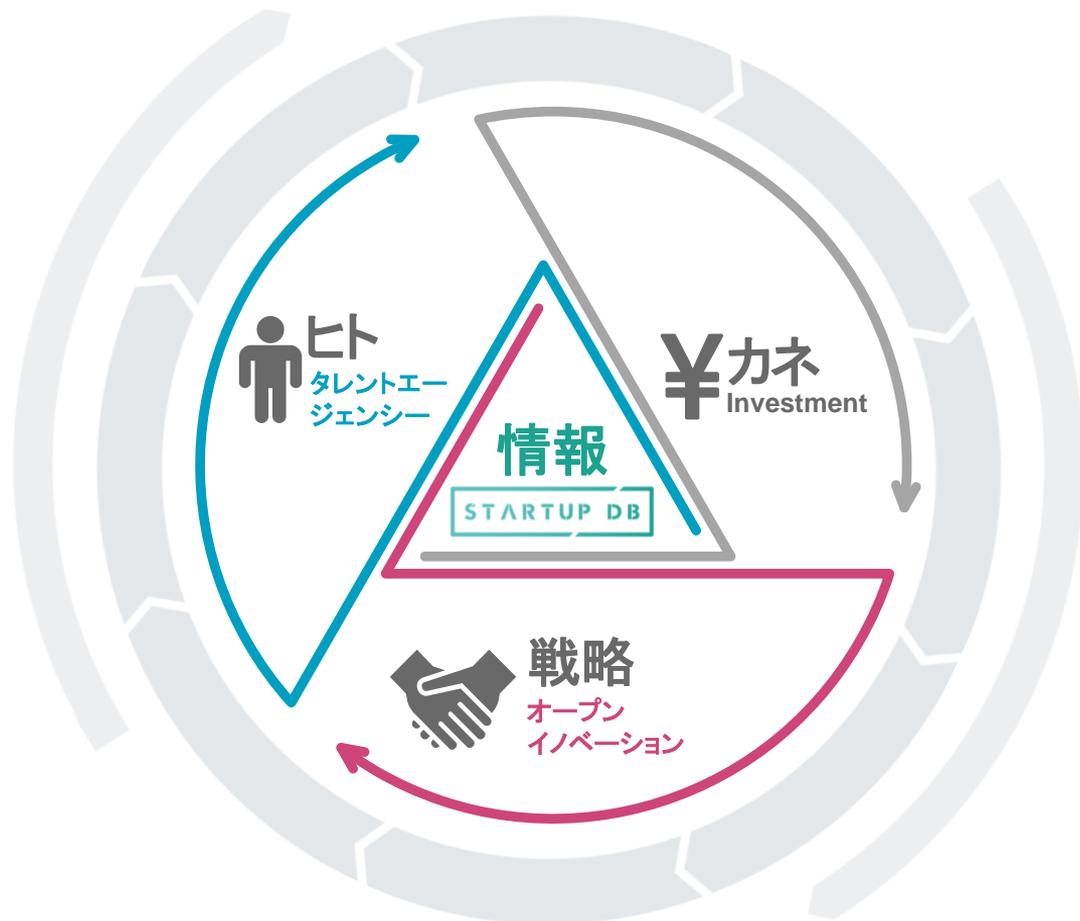
特にスタートアップ企業における「ヒト」は成長ドライバー。企業成長に欠かせない「ヒト」についてSTARTUP DBを活かして、効果的に支援。

戦略 (オープンイノベーション)

企業の成長には、大企業や官公庁との協力体制が必要。STARTUP DBを活かして、大企業・スタートアップ双方を戦略面から支援。

カネ (Investment)

競争力のある企業を生み出すには、「カネ」の存在も極めて重要。STARTUP DBを活かして効果的な投資を実行。



市場

国家戦略でもあるベンチャー支援は、長期的に高い成長可能性
(政府のベンチャー支援強化策や、ベンチャー企業に対する税制改正等)

仕組み

ベンチャーキャピタルと連携し、精度の高い情報を活用した
ビジネスの仕組み

データベース

- ・ スタートアップに特化したタレントデータベース
- ・ 国内最大級の成長産業データベース STARTUP DB

市場環境

日付	ニュース
9/9	日米拠点のVC DNX Venturesが3号ファンドを約330億円でファイナルクローズ 追加投資ファンドなどを合わせAUMは約580億円に
9/14	家具のサブスク「subslife（サブスクライフ）」、YJCやKDDIなど10社から約30億円を調達——法人需要拡大に対応
9/15	民間版の世界銀行を目指す五常・アンド・カンパニー、海外機関投資家を中心に20.2億円のシリーズD追加資金調達を完了
9/24	BASE、海外向け公募で118億円を調達 広告費などに充当
9/28	「第2のメルカリ」育成ファンド、メルカリ前CFOらが設立
9/29	KKday(ケイケイディ) シリーズCラウンドで79億円を資金調達
9/30	ジェネシア・ベンチャーズ、シード・アーリーステージに特化した「Genesisia Venture Fund 2 号投資事業有限責任組合」総額約80億円規模での最終募集を完了
10/11	アンドパッド シリーズCエクステンションラウンドとして20億円の追加資金調達を実施
10/13	スペースデブリ問題に取り組むアストロスケール シリーズEで累計調達額210億円を達成
10/19	日本データサイエンス研究所、29億円調達
10/28	安価な汎用デバイスで高速エッジAIを実現する「Actcast」のIdeinが20億円を調達

新型コロナウイルスの影響により、今期は調達社数・金額ともに昨年を下回る傾向

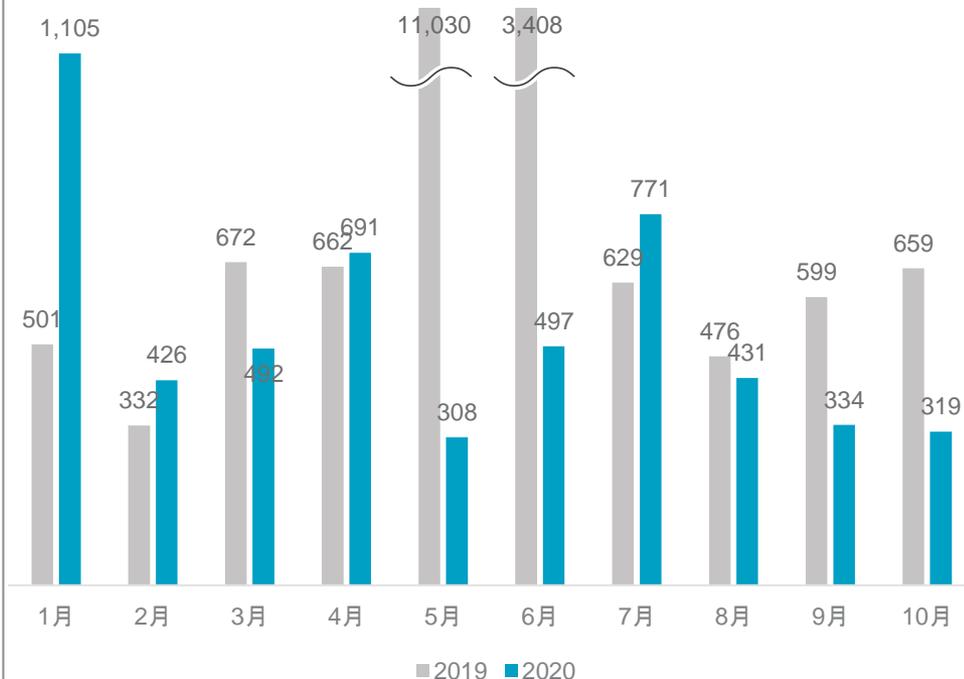
(単位:社)

資金調達社数



(単位:億円)

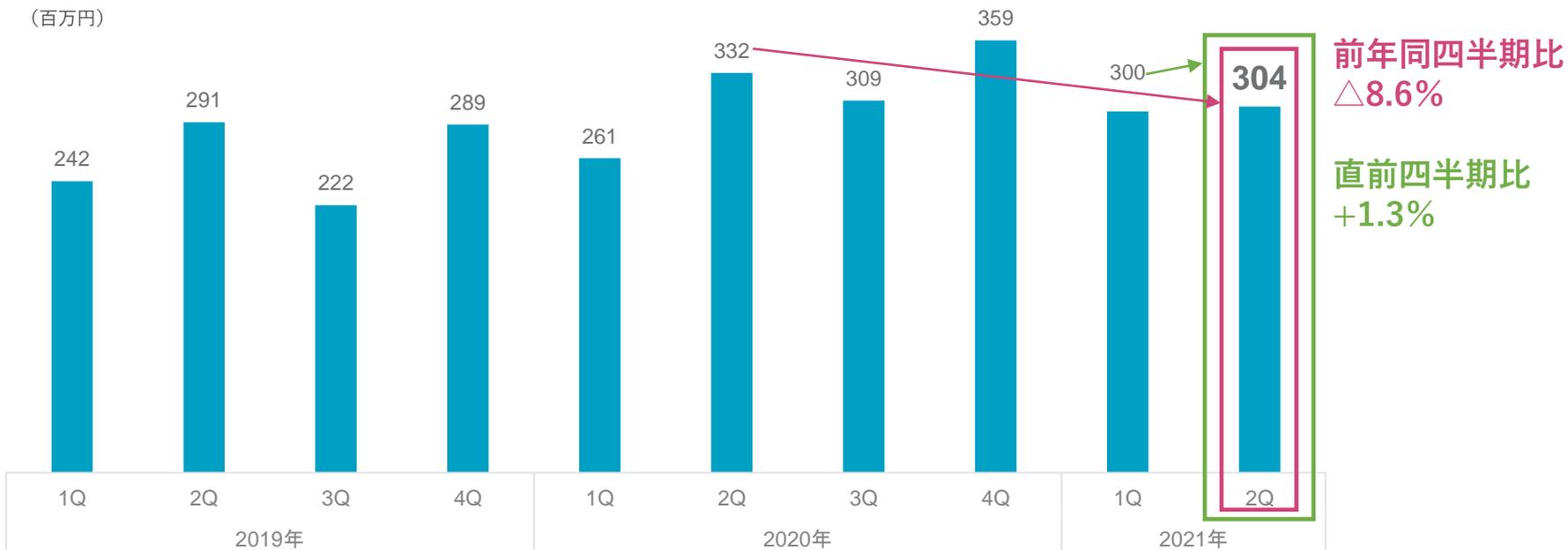
調達金額



2021年3月期 第2四半期業績

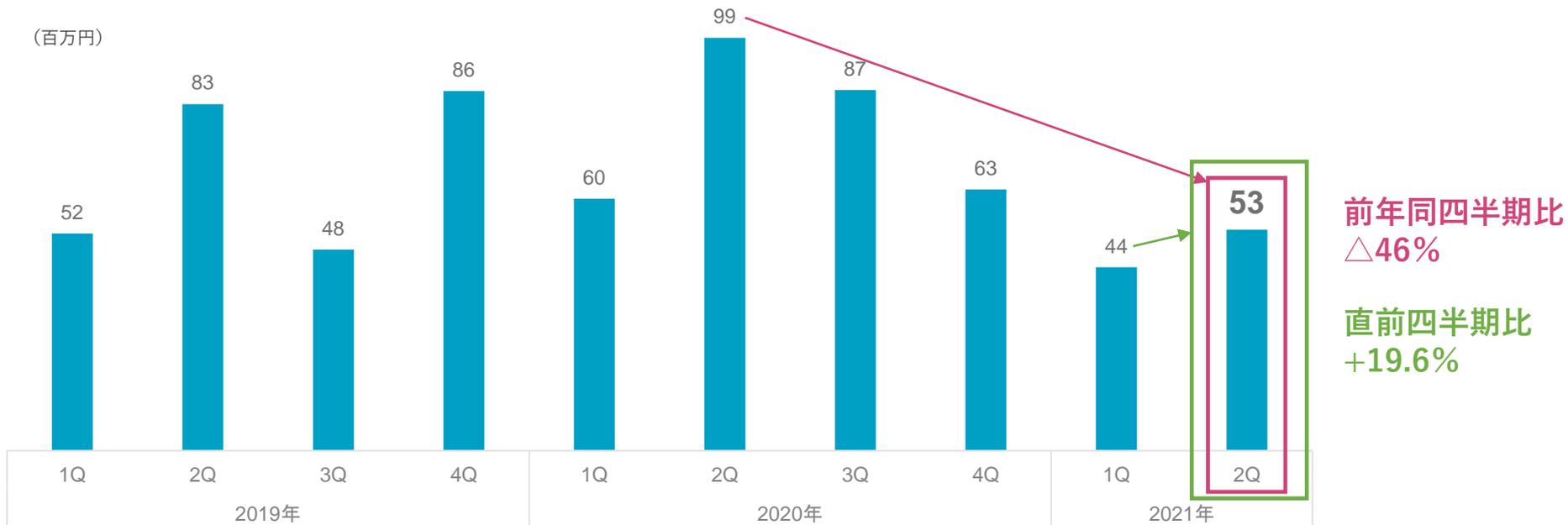
四半期売上高推移

2Q売上高を主に構成する1Q受注高が、新型コロナウイルスの影響により前年同四半期比で $\Delta 19.6\%$ と大きく減少した結果、2Qの売上高は昨対比 $\Delta 8.6\%$



四半期営業利益推移

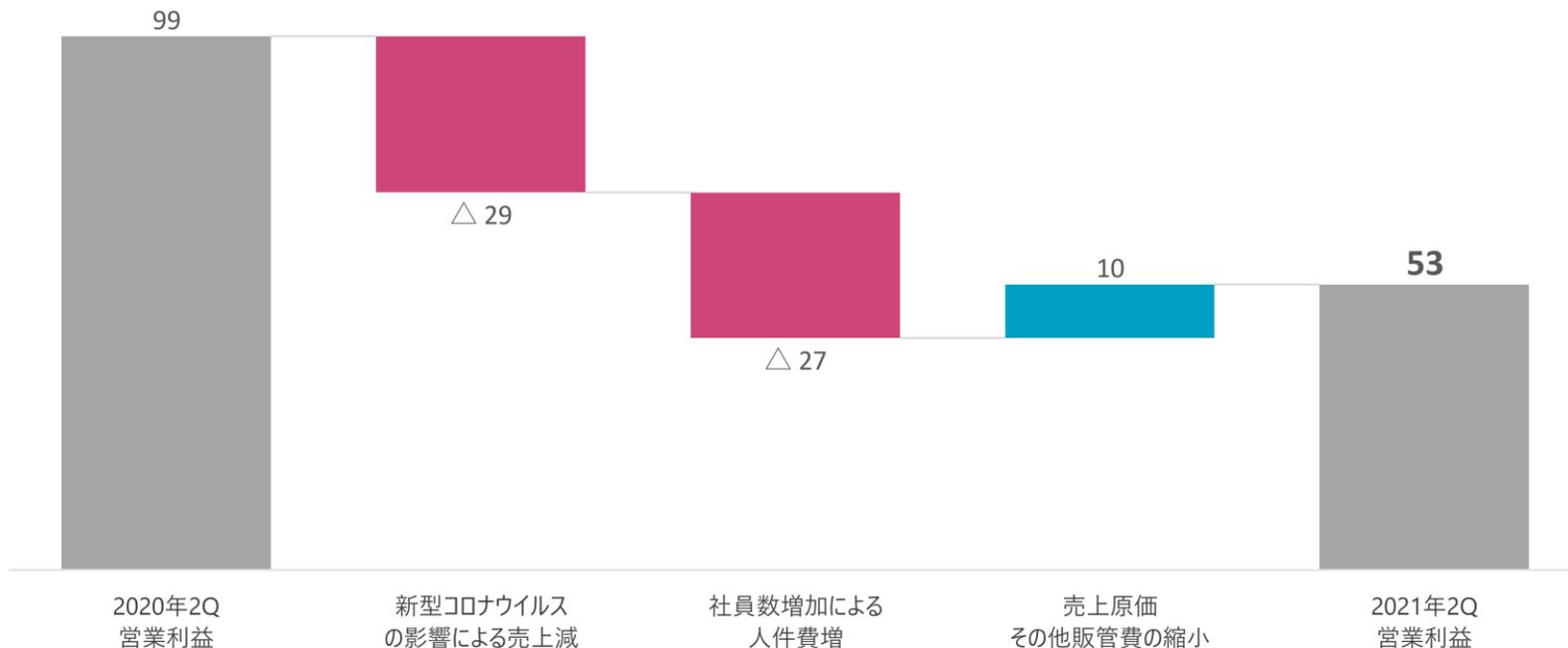
人員増に伴うコスト増等により前年同四半期比△46%



営業利益の前年同四半期比分析

新型コロナウイルスの影響による売上減、社員数増加（55→73名）による人件費増が要因

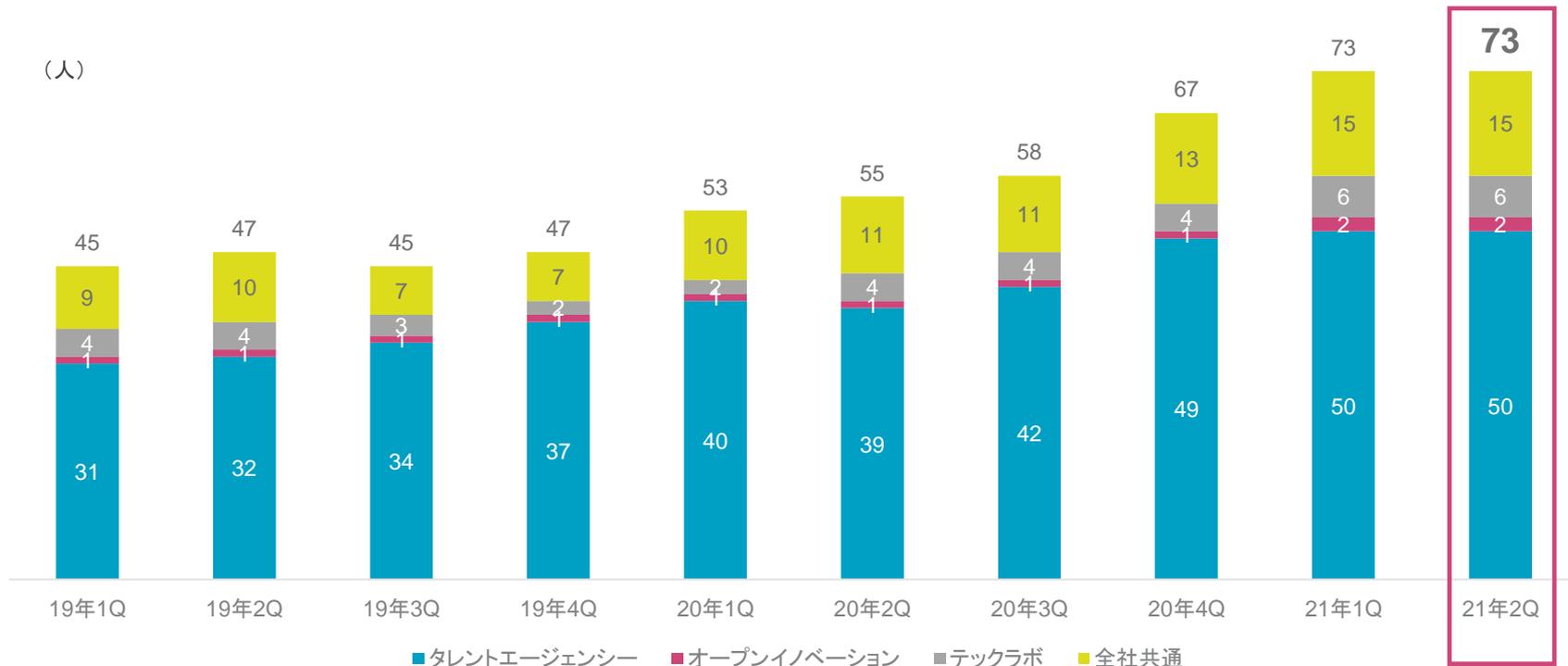
（百万円）



正社員数推移

緊急事態宣言解除後 採用活動を再開（2021年3月期中に100名体制を目指す）

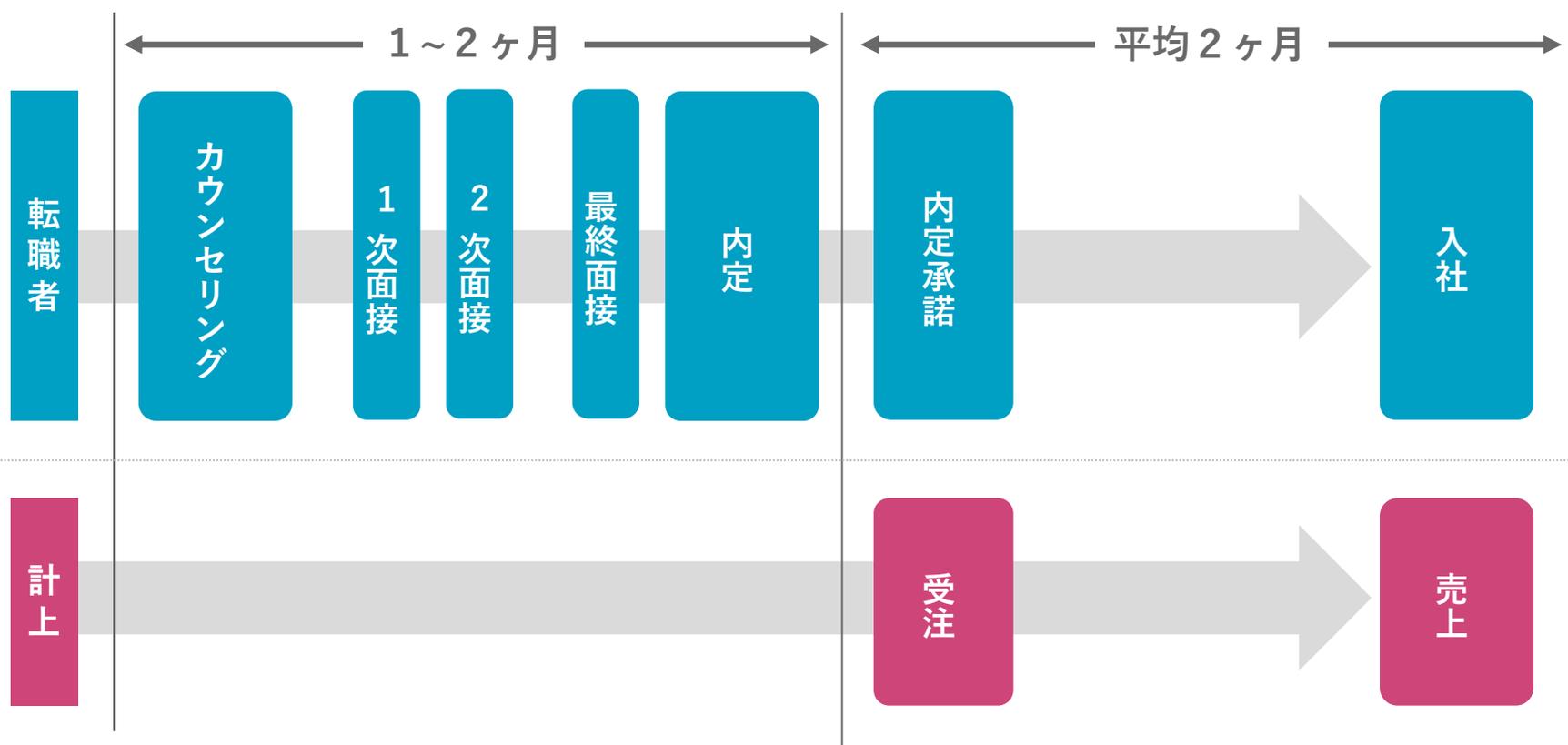
2021年4月、2022年4月入社に向けた新卒採用も開始



TALENT AGENCY

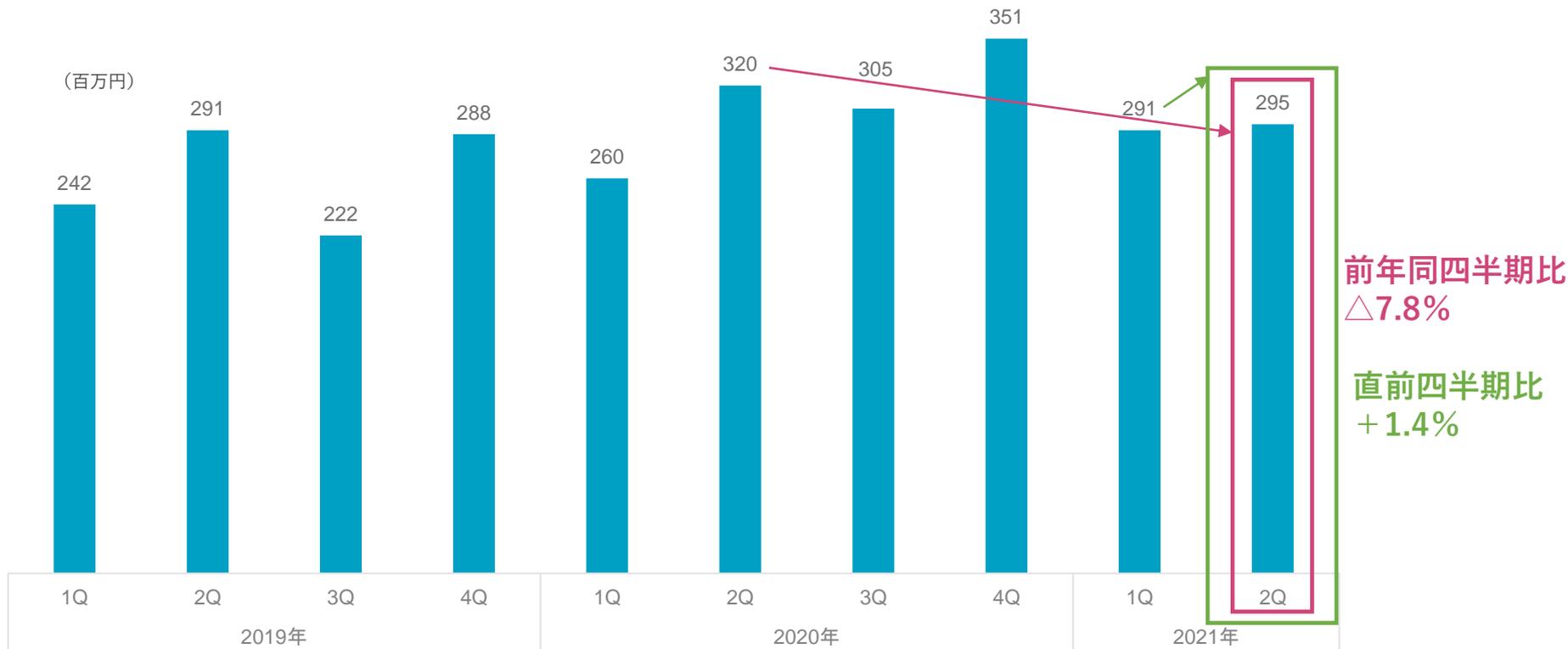
タレントエージェンシーサービス

転職者との最初のコンタクト時（カウンセリング）から売上計上まで、平均3～4ヶ月



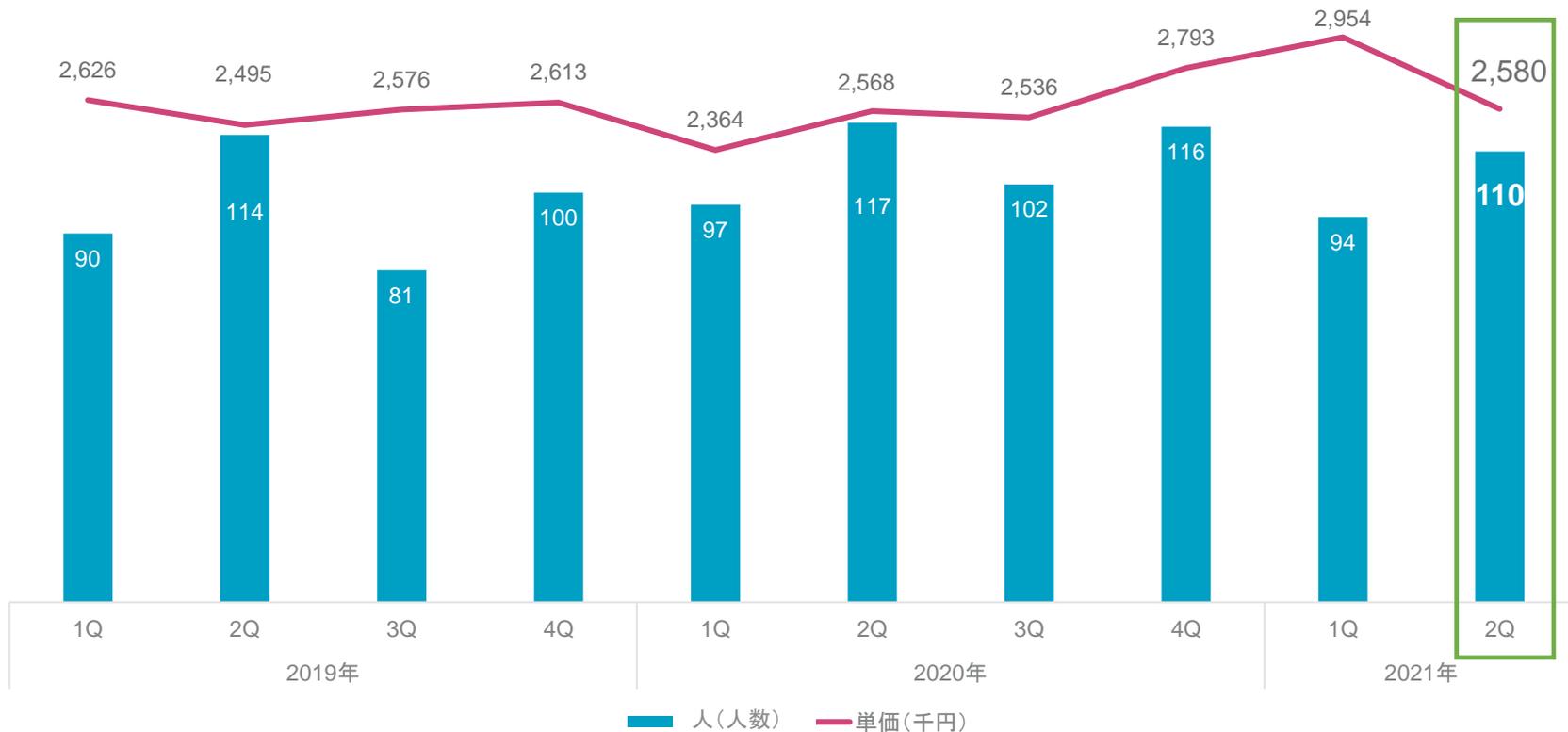
四半期売上高推移

新型コロナウイルスの影響を受け、前年同四半期比 $\Delta 7.8\%$



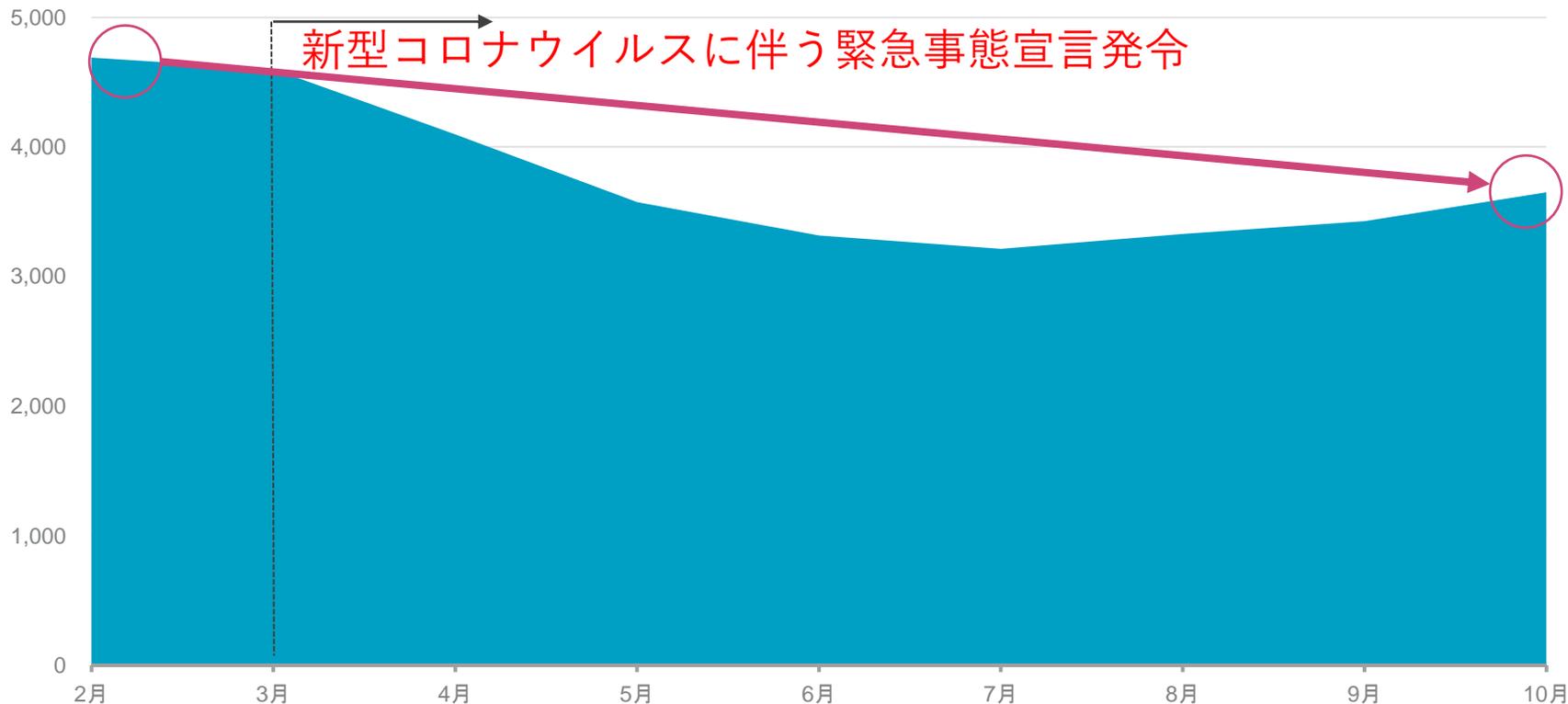
人材紹介 取引数と単価

継続的な営業努力により単価は、コロナ禍においても高水準を維持



新型コロナウイルスの影響（当社取り扱い求人数）

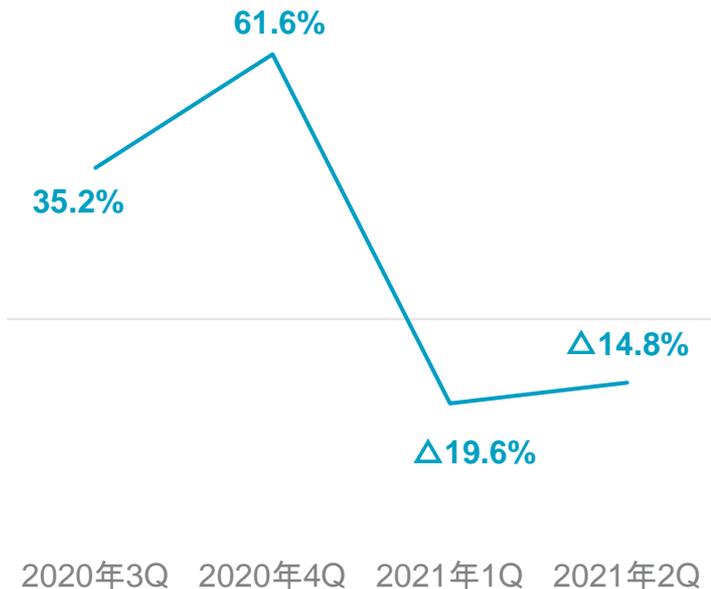
求人数は回復傾向にあるものの、10月は2月との比較で22%ダウン 予想以上に緩やかな回復



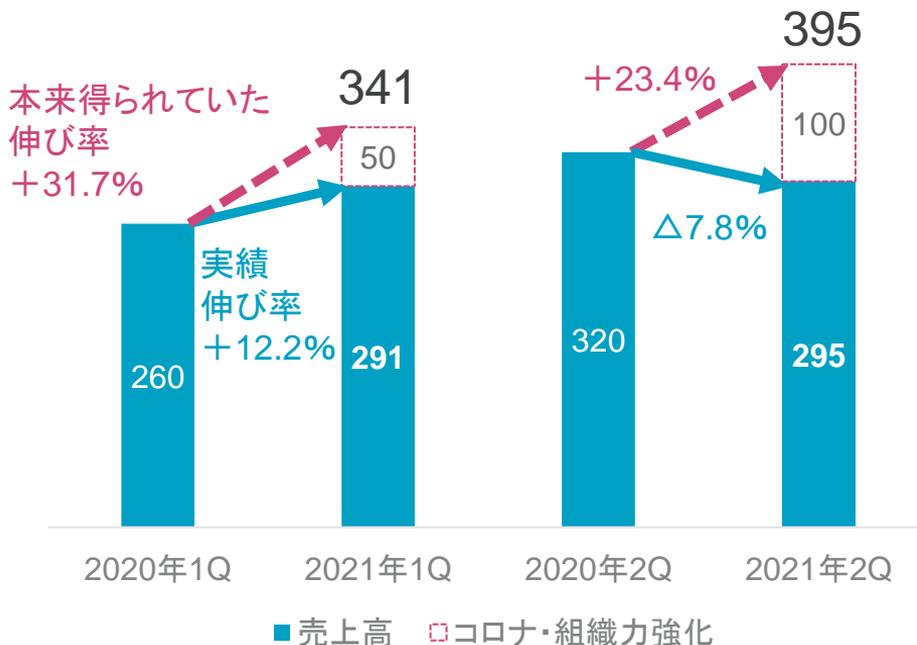
新型コロナウイルスの影響（受注・売上高）

四半期受注額伸び率はマイナスを示し、未だ成長基調に戻らず

昨年対比四半期受注額伸び率

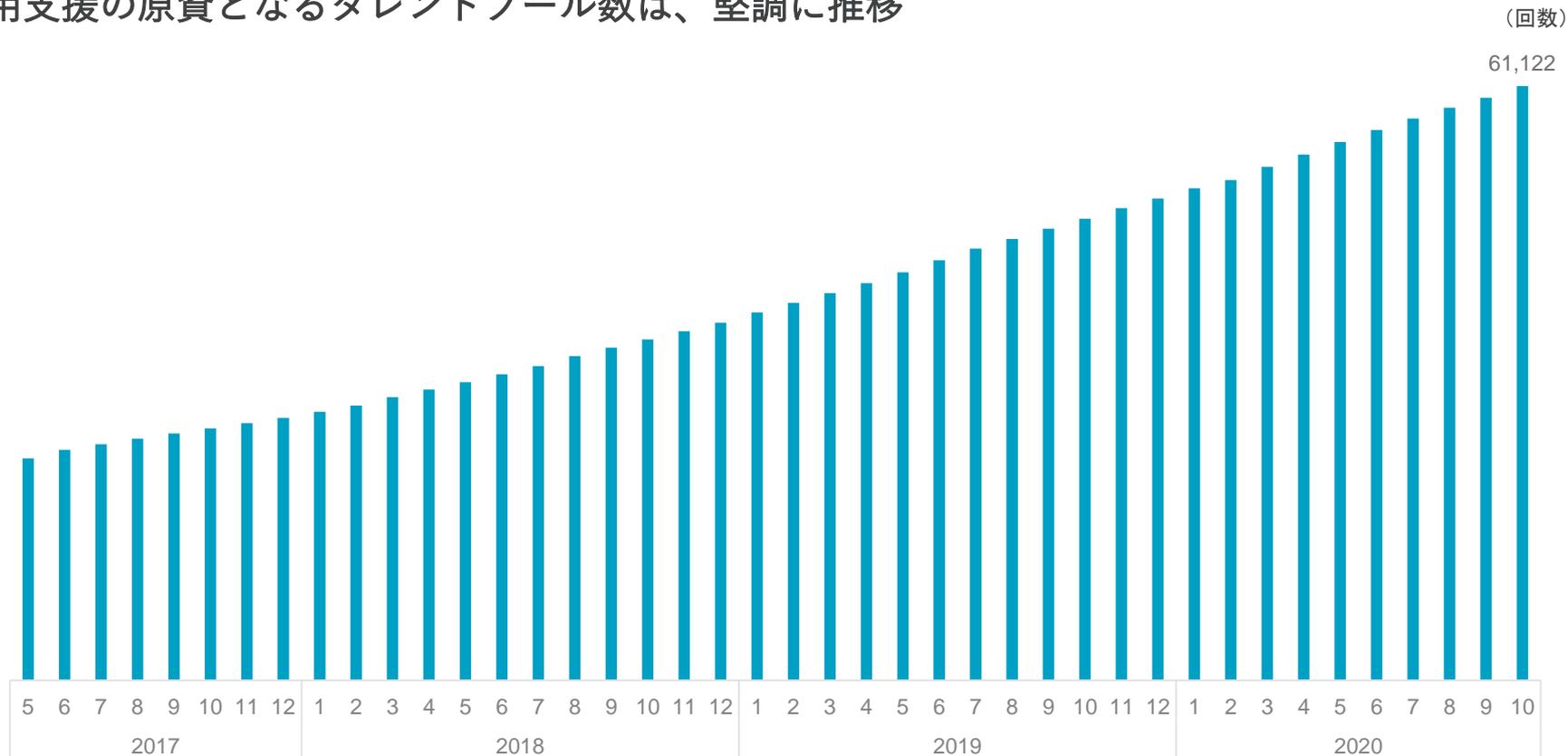


売上高における新型コロナウイルスの影響



累計タレントプール数

採用支援の原資となるタレントプール数は、堅調に推移



VCや研究機関と連携して、スタートアップ起業家を創出 年内にもう1社設立予定

起業支援実績例

★☆☆ YOURMYSTAR

ユアマイスター / 星野貴之 CEO (楽天出身) / 2016年8月設立

日本最大級のサービスECプラットフォーム運営

サービス産業のIT化プラットフォーム「YOURMYSTAR(ユアマイスター)」を運営するスタートアップ。「人々の大事なものがより大切にされる社会へ導く」という経営理念のもと、人々が大切にするつながりや場所、ものを大切に出来る社会のためのサービスを提供している。

Graffer

グラファー / 石井 大地 CEO (リクルート出身) / 2017年7月設立

行政サービスのデジタル改革推進

テクノロジーの力で民主主義を拡張することをビジョンに掲げ、行政サービスのデジタル変革を手掛けるスタートアップ。人々の主体性と創造性を引き出すために、新しい行政インフラを構築し、世界最高水準の電子行政システムの実現を目指す。

TERASS

TERASS / 江口亮介 CEO (マッキンゼー出身) / 2019年4月設立

不動産ITサービス運営

住宅業界で営業・また自身の不動産購入・リノベーション・民泊運営などを通し感じた“住まい探し・生活はもっと美しく自由になるはず”という思いのもとに設立。2019年8月に、暮らすを美しく自由にするハイエンド不動産メディア「TERASS」のβ版をリリース。



Blue Practice

Blue Practice / 鈴木 宏治 代表取締役社長 (日本IBM出身) / 2019年2月設立

医療シミュレータの開発・製造・販売

東北大学流体科学研究所/太田研究室、ならびに東北大学大学院医工学研究科/芳賀研究室による研究実績と内閣府革新的研究開発推進プログラム (ImPACT) 「バイオニックヒューマノイドが拓く新産業革命」の支援による研究成果に基づき、2019年2月に設立

EVANGE (エヴァンジェ)

通算170名CXO、ハイタレント支援の代表的な事例を紹介しているメディア

<https://evange.jp/>

掲載者例

- ・ 建築業界のDXに挑戦するクラフトバンク
CFO 木村 幸夫 (Yukio Kimura) 氏
- ・ ナレッジプラットフォームを運営するビザスク
執行役員 宮崎 雄 (Yu Miyazaki) 氏
- ・ 人工知能関連のプロダクトを提供するシナモン
CSO 佐藤 辰勇 (Tatsuo Sato) 氏
- ・ 人事労務を効率化するSmartHR
COO 倉橋 隆文 (Takafumi Kurahashi) 氏
などなど



EVANGE - ニューエリートをスタートアップへ誘うメディア

EVANGEは、ニューエリートをスタートアップへ誘うメディアです。スタートアップの第一線で活躍されており、「働き方の軸」を明らかにしていきます。スタートアップへの転職・起業のご相談はフォースタートアップ <https://forstartups.com/>

4 フォロー 288 フォロワー

ホーム マガジン 更新情報 for Startups, Inc. お問い合わせ



「命の危機から掴んだ唯一のチャンス」 困難に屈さない Finatex...



「資金調達だけなら要らない」クラフトバンク木村幸夫CFOの覚悟



EVANGE

23本

EVANGEは、ニューエリートへ誘うメディアです。



*掲載企業のロゴ画像は、各企業に許諾を得て掲載しています。

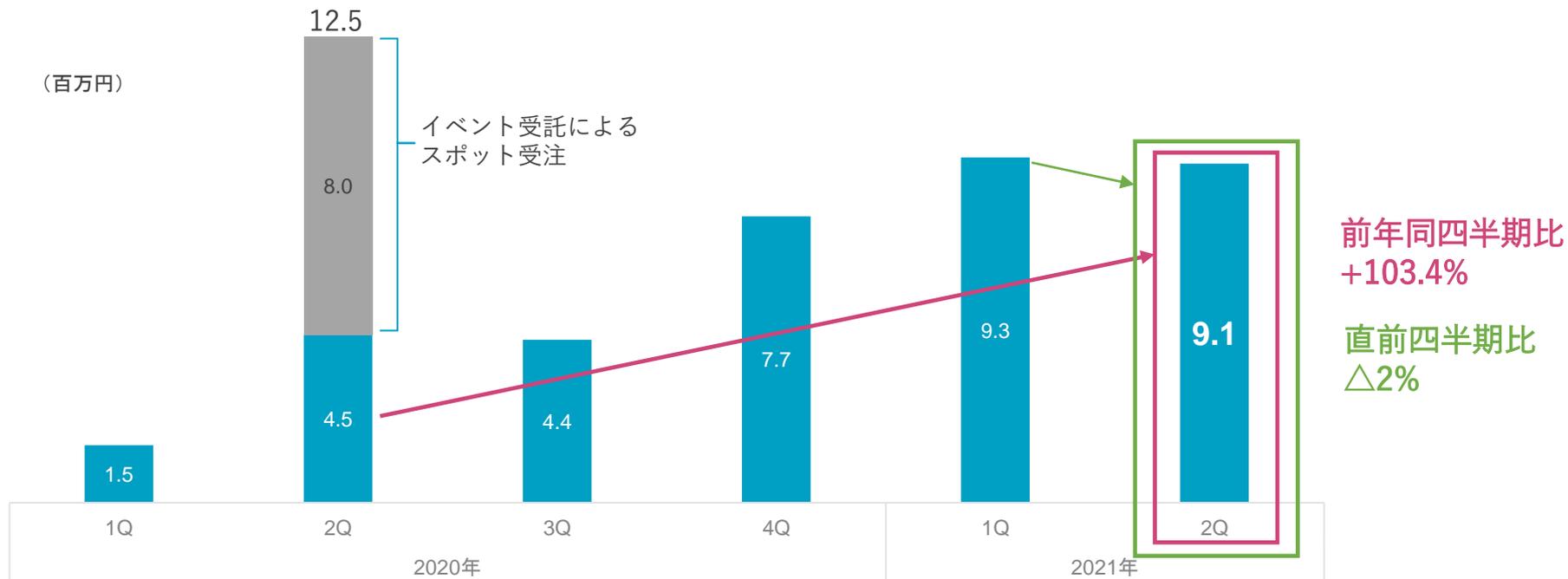
OPEN INNOVATION

オープンイノベーションサービス

目論見書には、アクセラレーションサービスとの記載をしておりましたが、
利用者理解の観点から名称をオープンイノベーションサービスに変更しております。

四半期売上高推移

コロナ禍で市場全体は弱含み傾向。新規事業創出や既存事業変革に優先度高く向き合う大手企業向けに営業を強化した結果、継続的に成長



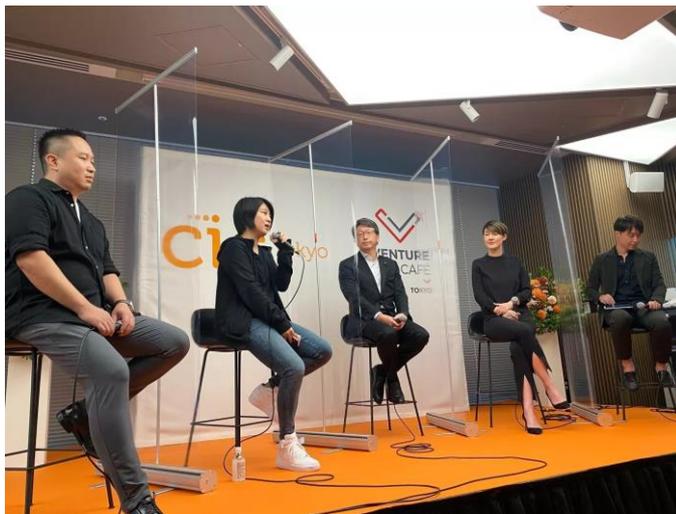
日本最大級のベンチャー集積施設「CIC Tokyo」にスタートアップ支援パートナーとして参画

1. 成長産業における「人」に関わるサポート
2. コミュニティの活性につながる「コンテンツ」提供

2020.10.01 CIC Tokyoがオープン
メディア向けのオープニングイベントを開催

小池百合子都知事、衆議院議員 平将明氏、
東京大学 五神総長が来賓として登場

パネルセッションでは、
衆議院議員 平将明氏、児玉太郎氏、
アーティストのスプツニ子！氏のほか、
当社取締役恒田が登壇



cic tokyo

NEDO（国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構）における「スタートアップ向け人材支援事業の取り組み状況に関する調査事業」を受託

国立研究開発法人
新エネルギー・産業技術総合開発機構

お問い合わせ窓口 委託・助成事業者の方へ アクセス YouTube Twitter English

ニュース イベント 実施者募集(公募) 事業紹介 刊行物・資料 調達 NEDOについて

トピックス

2020年10月29日
「BioJapan2020」に出展

ニュースリリース

2020年11月11日
世界初、民間プラントに三相回線超電導ケーブルを敷設

■ 実施者募集中の公募

機械システム ロボット・AI	2020年11月11日	「産業用ロボットへの展開が見込まれる異分野アカデミアシーズに係る調査」に係る公募について
機械システム ロボット・AI	2020年11月6日	「人工知能（AI）技術分野における大局的な研究開発のアクションプラン策定及び事業抽出のための調査」に係る公募について
分野横断的公募事業	2020年11月6日	（情報更新）2020年度「研究開発型スタートアップ支援事業（旧：研究開発型ベンチャー支援事業）」/シー

2021年3月期 業績予想

2021年3月期業績予想の考え方

中長期的な売上高成長を目指し、積極的な人員採用と組織基盤の構築を実施

背景

コロナ影響による実質GDP成長率の低下

- ・より一層、スタートアップ市場を盛り上げていく必要性
- ・より早く、スタートアップ市場における影響を拡大する必要性

マーケット

コロナ影響で企業のDX化が加速

リーマンショック時同様
採用市場はパンデミック収束後遅れて回復

社内

営業人材の戦力化に数か月必要

収束後の採用市場活性化を見据え、
早めの採用・育成が必要と判断

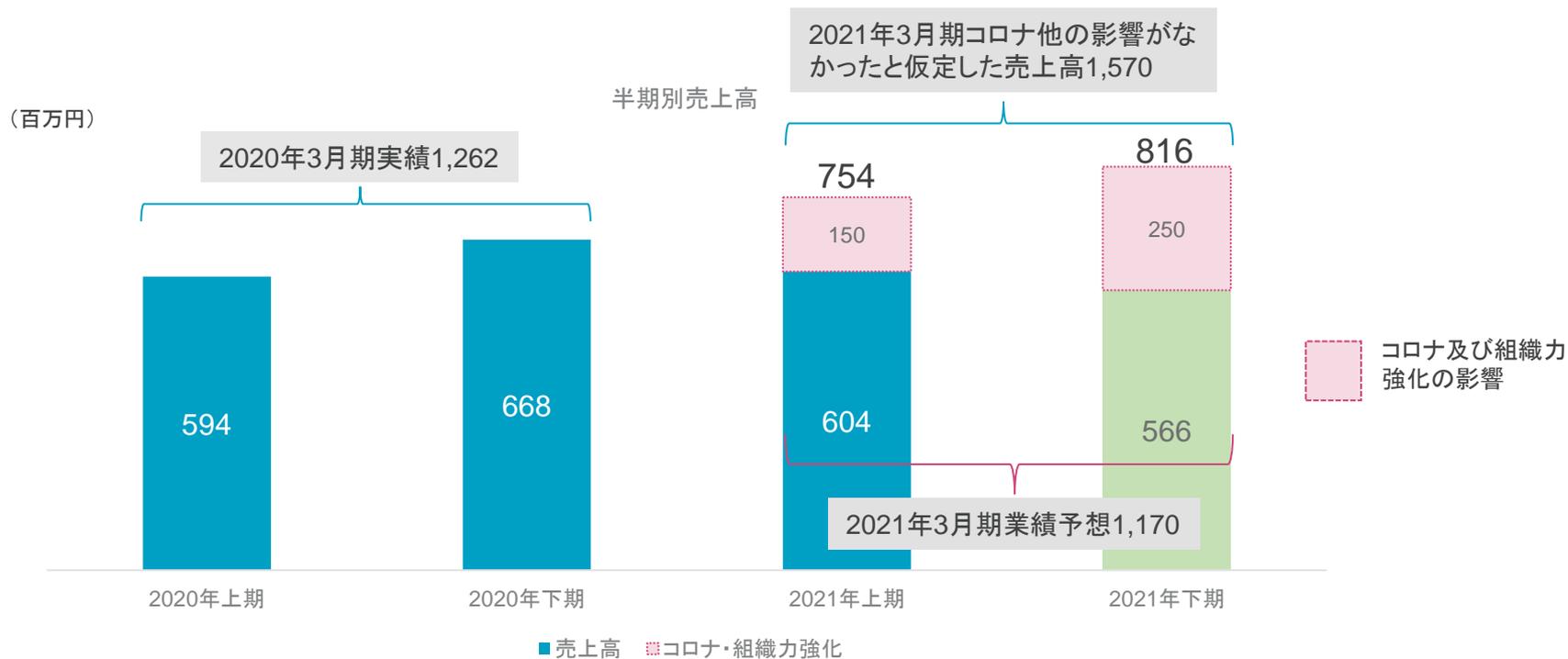
組織力強化・採用強化に改めてアクセルを踏む

2021年3月期業績予想

	2021年3月期 業績予想	2020年3月期 (実績)	伸び率	2021年3月期 上期実績	進捗率
売上高	1,170 百万円	1,262 百万円	▲7.4%	604 百万円	51.6%
営業利益	70 百万円	308 百万円	▲77.3%	98 百万円	140%
経常利益	75 百万円	287 百万円	▲73.9%	103 百万円	137.3%
当期純利益	40 百万円	203 百万円	▲80.3%	61 百万円	152.5%

2021年3月期の売上高 詳細

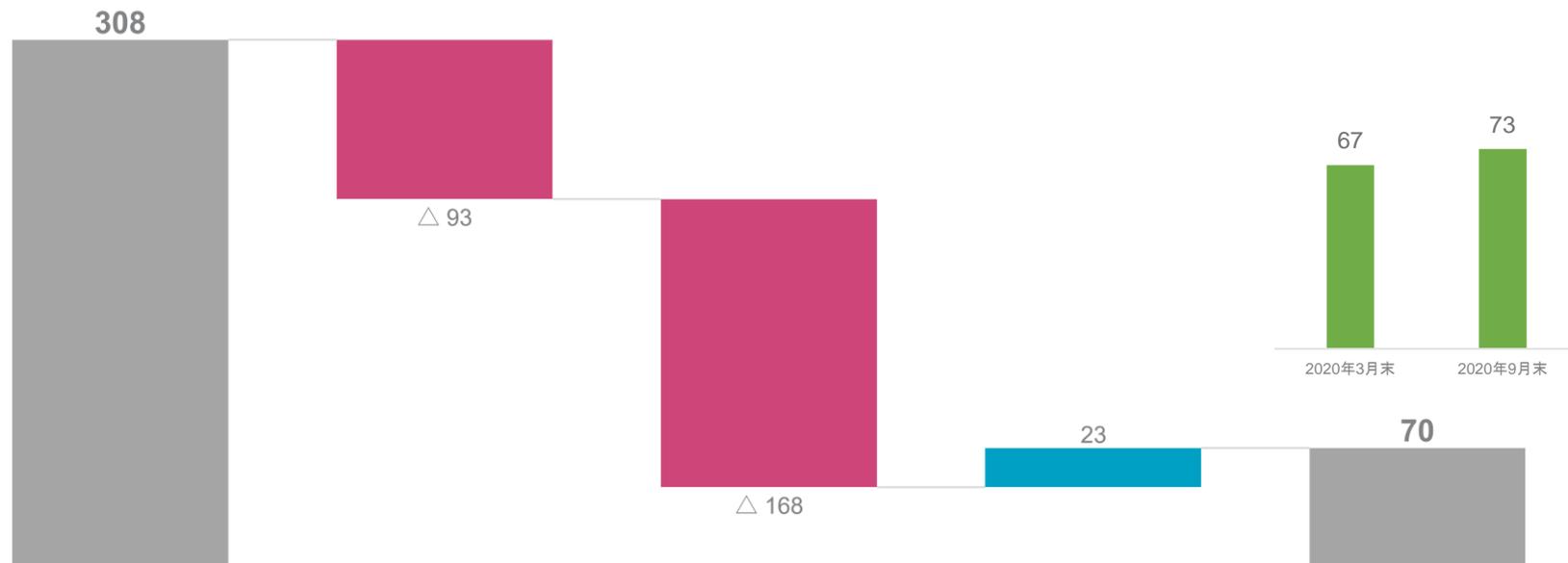
今期は新型コロナウイルスの影響を受けつつも、中長期の売上高成長を見据え、採用・組織力（育成体制・マネジメント等）強化を実施



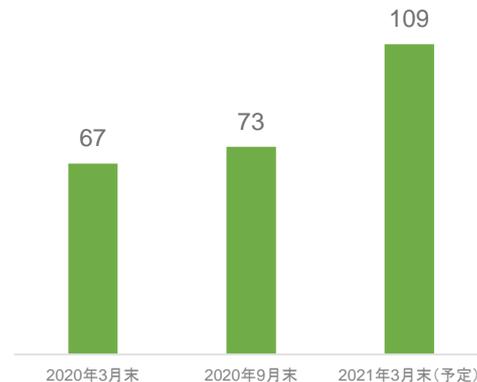
2021年3月期の営業利益 詳細

人件費増が影響し、営業利益は70百万円を予想 下期入社の上貢献は翌期以降

(百万円)



社員数



2020年3月期
営業利益

売上高減少

人件費採用費増加

他販管費減

2021年3月期
営業利益

業績予想

来期以降の売上高成長を見据え基盤整備、採用をより一層加速

	項目	方針
事業	タレントエージェンシー	<ul style="list-style-type: none">採用強化（ヒューマンキャピタリスト60名超体制）エンジニア採用支援チームの増強CXO・ハイタレント支援専門チームの組成
	オープンイノベーション	<ul style="list-style-type: none">資金調達/M&A支援等の新サービスの開発データベース（STARTUP DB）連携・販売政府・自治体との連携強化
全社	人員・管理体制強化	<ul style="list-style-type: none">採用強化経営管理体制の強化（会社を次のステージへ）

ヒト (タレントエージェンシー)

営業人員を拡充し、順調に規模を拡大中

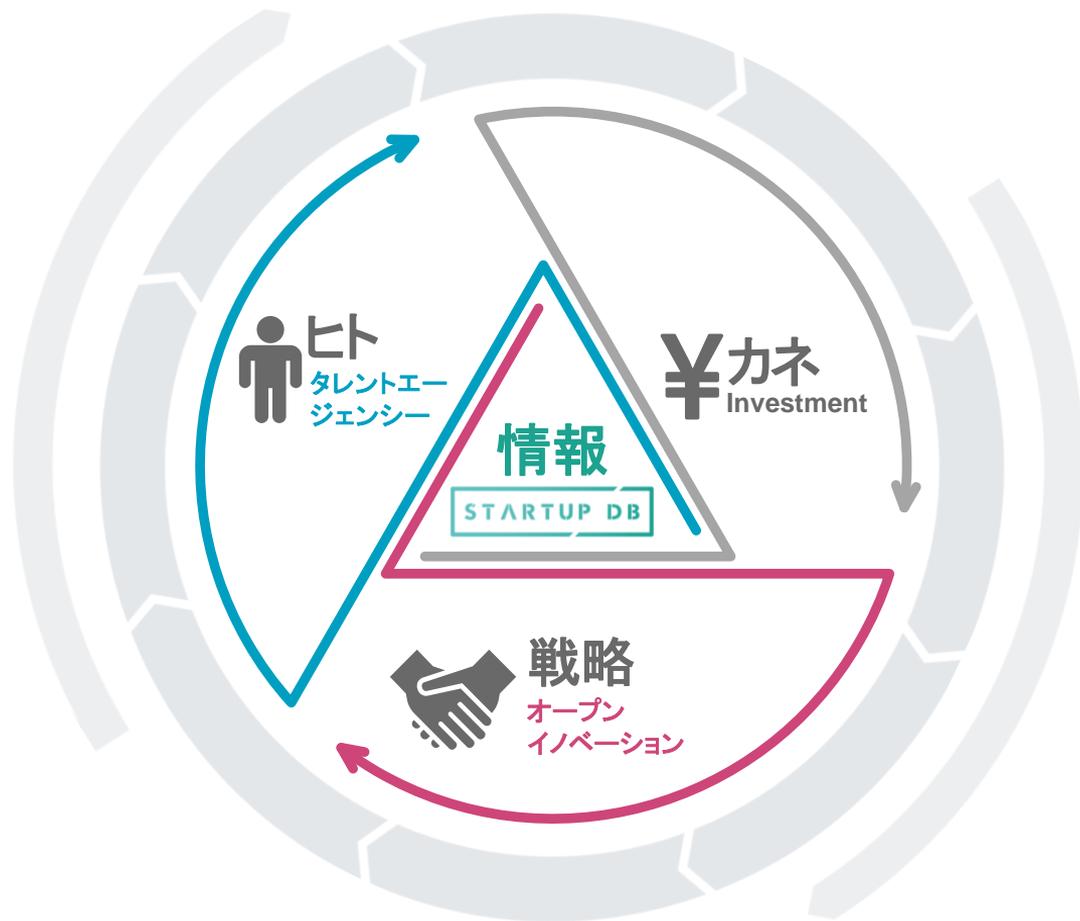
戦略 (オープンイノベーション)

M&A支援、資金調達支援、データ販売等

大企業・スタートアップ双方を戦略面から支援する

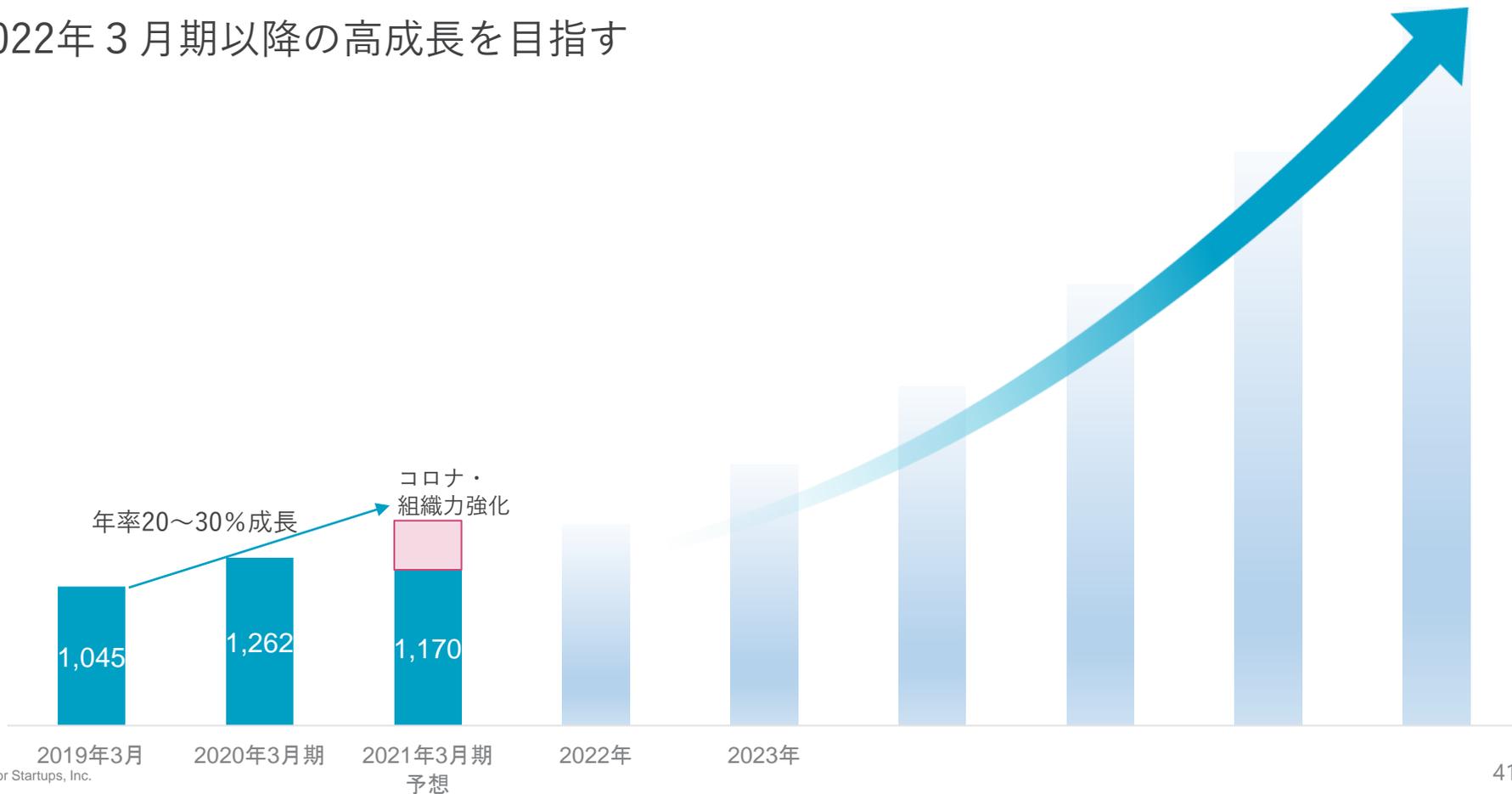
カネ (Investment)

外部資産を含めた投資ビジネスに進出



中長期売上高成長イメージ

2022年3月期以降の高成長を目指す





for Startups

すべては、スタートアップのために。

世界で勝てる成長産業・成長企業を日本から生み出す。

APPENDIX

四半期PL 前年同期比較

(単位:百万円)	2020年3月期2Q	2021年3月期2Q	増減
売上高	332	304	△28
売上原価	57	47	△10
売上総利益	275	256	△19
売上総利益率	82.7%	84.3%	+1.6Point
販売管理費	176	203	+27
営業利益	99	53	△46
営業利益率	29.8%	17.6%	△12.2Point
経常利益	99	53	△46
経常利益率	29.8%	17.5%	△12.2Point
当期純利益	64	26	△38

BS 前期末比較

(単位:百万円)	2020年3月期末	2021年3月期2Q末	増減
流動資産	953	1,203	+253
(現金及び預金)	816	1,070	+254
固定資産	177	147	△30
資産合計	1,130	1,350	+220
流動負債	248	233	△15
固定負債	—	116	+116
負債合計	248	350	+102
(有利子負債)	—	183	+183
純資産合計	882	1,000	+118
負債純資産合計	1,130	1,350	+220

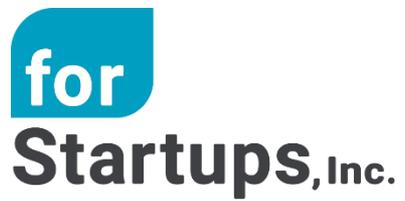
本資料の取り扱いについて

本資料には、将来の見通しに関する記述が含まれています。これらの記述は、当該記述を作成した時点における情報に基づいて作成されたものにすぎません。さらに、こうした記述は、将来の結果を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。実際の結果は環境の変化などにより、将来の見通しと大きく異なる可能性があることにご留意ください。

上記の実際の結果に影響を与える要因としては、国内外の経済情勢や当社の関連する業界動向等が含まれますが、これらに限られるものではありません。

今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合において、当社は、本資料に含まれる将来に関するいかなる情報についても、更新・改訂を行う義務を負うものではありません。

また、本資料に含まれる当社以外に関する情報は、公開情報等から引用したものであり、かかる情報の正確性、適切性等について当社は何らの検証も行っておらず、またこれを保証するものではありません。



すべては、スタートアップスのために。